

# これまでの合併特例債の使い道と今後の予定をお知らせします

笠間市では、笠間市総合計画に基づいた事業のうち、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現したりする事業の財源として、合併特例債を活用しています。具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校などの耐震化や児童館の整備など市民の生活に身近な事業に活用しています。

現在、平成18年度から25年度までの8年間で約100億円を借り入れていますが、これまでの主な使い道や今後の予定についてお知らせします。

## 合併特例債とは

合併特例債とは、合併した市町村が、新市建設計画に基づいて行う、新しいまちづくり事業の財源として借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10か年度に限られていましたが、法改正に伴い、期限延長をすることができるようになりました。

笠間市では、平成27年度が活用期限となっています



北山公園散策路(新池)

が、法改正を受けて期限延長の手續きを進めています。なお、事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、将来支払う元利償還金の70%が普通交付税によって措置されます。

## これまでの主な使い道

### 平成24年度まで

笠間市では現在までに、この合併特例債を活用し、旧市町を結ぶ道路の整備や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業を実施しました。

### 道路整備事業

- 笠間小原線(桂町工区)、大淵飯田線、友部池野辺線、友部1級3号線(小原)、友部1級12号線(平町)大古山)、友部2級10号線(住吉)湯崎)、岩間八郷線、上町大沢線、南友部平町線、来栖本戸線

### 都市整備事業

- 岩間駅周辺整備、岩間駅東大通線

### 学校施設等整備事業

- 岩間中学校、笠間学校給食センター

### 耐震補強

- 友部中学校、笠間小学校、岩間三小体育館、笠間中学校、宍戸小学校

### その他

- まちづくり振興基金積立、児童館整備、市民体育館大規模改修

平成18年度から24年度までの間に、これらの事業の財源として、合計90億3,700万円を借り入れしました。

### 平成25年度

岩間駅東大通線延伸部や宍戸小学校屋内運動場の整備を実施しました。道路整備では、来栖本戸線等の整備を進めました。

### 道路整備事業

- 来栖本戸線
- 笠間小原線(桂町工区)
- 上町大沢線

### 都市整備事業

- 岩間駅東大通線延伸部
- 笠間稲荷門前通り

### 学校施設等整備事業

- 宍戸小学校屋内運動場

### その他

- まちづくり振興基金積立 4億7,500万円
- 北山公園散策路整備(新池) 1,690万円

## 今後の使い道

### 平成26年度

道路整備では、友部池野辺線等の整備を予定しています。また、都市整備では、岩間駅東大通線延伸部等を整備します。

### 道路整備事業

- 友部池野辺線(池野辺工区)
- 南友部平町線
- 笠間小原線(桂町工区)

### 都市整備事業

- 岩間駅東大通線延伸部
- 笠間稲荷門前通り

### 学校施設等整備事業

- 笠間地区市街地浸水対策

### その他

- 岩間中学校部室棟 2,020万円
- まちづくり振興基金積立 2億6,600万円

